


バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 9 月

作成者：(株)エックス都市研究所

	【施設名称】 障害者支援施設「就職するなら明朗塾」
	【事業主体】 社会福祉法人光明会
	【所在地】 千葉県八街市
	【運転開始年】 平成 16 年
原材料および利用量	廃食用油
生産物（種類）	B D F 等燃料（36,550 ㍓/年・平成 16 年）
利用方法	販売
導入目的・経緯	障害者支援施設による地域と連携した廃食用油の B D F 燃料化事業。 知的障害者の就労支援施設として 80 名ほどが入所する「就職するなら明朗塾」において、就労支援の一環と社会貢献に取り組む活動として、平成 16 年から知的障害者らによる廃食用油の回収(36,550㍓/年)と B D F (バイオディーゼルフューエル)燃料化事業を実施。廃食用油は、近隣 3 市（八街市、山武市、富里市）の学校給食センターやスーパー、事業所などから回収するほか、地域住民と協力して「廃油回収ステーション」を設置し、一般家庭で排出される廃食用油の回収も実施。
設備仕様	
稼働状況	廃食用油は、近隣 3 市（八街市、山武市、富里市）の学校給食センターやスーパー、事業所などから回収するほか、地域住民と協力して「廃油回収ステーション」を設置し、一般家庭で排出される廃食用油の回収も実施。
経済性関連データ	
導入効果	障害者らが主体となって回収・精製・販売を行い、資源循環活動に取り組んだことで、新たな地域との連携・交流も誕生。
運営上の課題	将来は「障害者による収益事業」として株式会社化し自立させていくことを検討。
備考・参考資料	JORA 社団法人日本有機資源協会 利活用最良表彰 18 年